

かつたっ子



15の春プロジェクト

平成 29 年 10 月 27 日 発行

勝田中学校区保幼小中連携
つなぐ推進委員会だより
発行責任者 No. 8
勝田中学校長 西村 睦美

第1回合同研修会を開きました



8月18日（金）かつた市民センターで『かつたっ子15の春プロジェクト』第1回合同研修会を開催しました。



4月に実施された岡山県学力学習状況

調査結果を元に、勝田小学校・勝田東小学校・勝田中学校が2学期からどのように授業改善に取り組む、家庭学習の習慣をつけていくかなどを話し合いました。校区の学力の課題は幼児期からの心や体の発達と深く関わっているため、勝田ひまわり園の先生も参加して下さい、『かつたっ子15の春プロジェクト 学びと育ちの連携表』をベースに、次のような話し合いを進めました。

幼児期は、大きな声であいさつや返事をする、ご家庭でじっくりお話を聞いたり、しっかりスキンシップをしたり、絵本の読み聞かせをしたりするなど、お子さんとの関わりを大切にしてください。

小学校・中学校では、学校の授業でしっかりと学力をつける取組を進める。家庭学習の内容を子どもたちに分かるように示して、学年毎の家庭学習時間を確保する。スマホの危険性を学び、メディアの時間を少なくしてブルーライトの健康被害を防ぐ。

家庭での学習時間は…

かつたっ子15の春プロジェクト【学びと育ちの連携表】より

小 学 校						中 学 校	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	1, 2年	3年
20分	30分	40分	50分	60分	70分 以上	2時間 以上	2時間～ 3時間

小学校入学時から、少しずつ家庭での学習時間を積み重ねて中学生になります。一度に家庭学習の習慣はつきません。ご家庭でも、子どもたちが机に向かって学習する時間を確保しましょう。

メディアコントロールは…

中学校の定期テスト期間にあわせて、2小学校でもメディアコントロールの力をつける取組をしています。TVやゲーム、インターネット利用の時間などが長時間にならないようにしましょう。

第2回15の春合同研修会は、11月27日（月）午後から、勝田中学校のICT教育推進モデル校事業の授業研究会に参加して実施します。勝田小学校・勝田東小学校は給食後、下校です。当日午後にお急ぎのご連絡などがありましたら、勝田中学校にお願いいたします。

中学校で2校交流陸上記録会

毎週火曜日の午後は、小学校5、6年生が中学校で学ぶ日です。

2学期は、10月から再開。10月10日（火）は2小学校交流陸上記録会が開催されました。中学校のグラウンドでは200mトラックと100m直線4コースが準備され、大きな砂場の整備も万全。中学校は公認グラウンドだけあって本格的な会場が用意できました。



10月5日（木）放課後、暗くなるまで小中3校の職員で準備・整地をしました。日頃、使用していない砂場は、勝田小学校特別非常勤講師でもある鷹取勝也さんが耕運機で整備してくださり、広々とした素晴らしい砂場で競技できました。



アップを十分した後、まず、100m走から。先生たちの大きな声援が響き、標準記録突破を目指して全力疾走。60mハードルも、上手に飛び越しながら一直線にゴールを目指しました。その後は、種目別に引き締まった競技態度で練習が続き、中学校のグラウンドに小学生の活気が満ちあふれていました。休憩時には、中学生たちも声をかけたり、「自分たちもここでしたかったな」と話しかけてくれたり、和気あいあいとした雰囲気です。小学校と中学校との一体感を感じるひとときでした。

人権講演会



『大切ないのち 大切なわたし』
山下明美さん（CAPおかやま代表）

今回の講演会では、人の体や性別、生命誕生の仕組みなどを中心に、一人一人が大切な存在であることを考えました。講演を聞いた中学生の感想の一部をご紹介します。

「(略)話を聞いている内に、生まれてくることの大切さを感じました。

(略)生まれてくるまでに10ヶ月かかります。その間に奇跡が何回もおこって僕たち人間が生まれてきていることを改めてこの講演会で考えました。僕は男です。この世の中には自分の性別とは違う性別の思いを持っている人がいることがわかりました。(略)これからは、違うということに困っている人や考え込んでいる人に自然と手をさしのべることができる大人になりたいです。(略)」

10月19日
(木) 14時～



2学期も、漢検チャレンジ!

11月10日（金）は、本年度2回目の漢字検定チャレンジデー。1学期は小学校からのたくさんの受験者があり、全員合格という快挙を成し遂げました。級が上がる毎に難しさも上がりますが、より高い目標に向かってチャレンジするという気運がかつたっ子に広がっています。第2回目も受験者が小中で何と50名!!すばらしいことです。小学生のがんばる気持ちが中学生にも伝わって、中学生も上級にチャレンジする人が増えています。中学校では英語検定でも積極的なチャレンジ精神が発揮され、11名が受験しました。好結果が期待されます。学びのチャレンジャーかつたっ子です。